

# TIFFANY & Co.

## ティファニー、ミラノにてインスタレーションを発表 ホーム&アクセサリーコレクションのヨーロッパローンチを記念して実施

ラグジュアリー・ジュエリー・ハウスのティファニーは、ヨーロッパにおけるホーム&アクセサリーコレクションのローンチを発案して、ミラノ・サローネ国際家具見本市の期間中、ミラノ・ドゥオモ広場の旗艦店にてクリエイティブインスタレーションを発表しました。ホーム&アクセサリーコレクションの遊び心とウィットをインスピレーション源として、店舗をグリーンハウス（温室）に見立て、ティファニーの職人たちが手作業で創り上げる精巧なスターリングシルバーや銅、ガラスを素材とするマスターピースの再解釈が展開されています。グリーンハウスの直線的な建築を彷彿とさせる店舗ファサードのデザインテーマが店内まで続き、メインフロアには大きなグリーンハウスを据え、アーティスティックなフラワークリエイションがいたるところに咲き誇ります。

ティファニーのチーフ・アーティスティック・オフィサーを務めるリード・クラッコフによって選ばれた5名の女性アーティストたち—Anna Galtarossa（アナ・ガルタロッサ）、Shantell Martin（シャンテル・マーティン）、Marilyn Minter（マリリン・ミンター）、Laurie Simmons（ローリー・シモンズ）、そしてAnna-Wili Highfield（アナ＝ウィリ・ハイフィールド）が、グリーンハウスの概念を現代的で革新的な視点で解釈。外に面したウィンドウディスプレイには、彫刻からコラージュに至るまで、オリジナリティあふれる様々な作品を通して、アーティストたちの驚異的なビジョンが再現されています。

「今回は、ホーム&アクセサリーコレクションのグリーンハウスを芸術の域に高めることにしました。なぜなら、ティファニーのクラフツマンシップのパーフェクトな表現であり、創造力のシンボルであるからです。」とリード・クラッコフは述べています。

クリエイティブインスタレーションは、4月22日まで展示いたします。



#TiffanyEveryDay @tiffanyandco

ティファニーは、1837年にニューヨークで創業した国際的に著名なジュエラーです。長い歴史と伝統に裏打ちされた、アイコン的なジュエリーとラグジュアリー製品の製造販売を世界的に手がけています。ティファニーは、20ヶ国以上で300以上のストアを運営しています。更に詳しい情報は、[tiffany.com](http://tiffany.com)をご覧ください。

本件に関するお問い合わせ先

ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク  
パブリックリレーション

TEL 03-6895-4473 FAX 03-3287-0168

お客さまのお問い合わせ先

ティファニー・アンド・カンパニー・ジャパン・インク  
TEL 0120-488-712 URL [www.tiffany.com](http://www.tiffany.com)

【5名のアーティストによるクリエイティブインスタレーション】

Anna Galtarossa



Shantell Martin



Marilyn Minter



Laurie Simmons



Anna-Wili Highfield



## 【アーティスト略歴】

### **Anna Galtarossa**

アンナ・ガルタロッサの作品は、「感情を場所へと変えること」に関係しています。ガルタロッサの種々雑多な、微に入り細にわたるインスタレーションと彫刻は、安雑貨店（「駄菓子屋」）のプラスチック玩具から、傾いた建築構造物や、家族のスナップショットと人間の髪で構成されたフェティシズム的なトーテムまで、イメージとオブジェの膨大な集積を特徴としています。ガルタロッサは、インスタレーションを、まるで油絵を描くように構築していきます。ゆっくり時間をかけて作り上げられるそれぞれのインスタレーションは、長きにわたる探求と省察のプロセスの成果です。ガルタロッサの作品は、多数のレイヤーとディテールの中に符号化された複雑な神話学を提示しています。

### **Shantell Martin**

シャンテル・マーティンの独特なモノクロ作品の表面下にあるのは、アーティストと見る側の役割についての探求です。マーティンの世界では、アート作品は、そのつくり手とオーディエンスから切り離すことができず、アートは、その着想のプロセスから切り離された、称賛の対象以上のものです。オーディエンスと周りの環境を自らの描画へと取り込むマーティンの手法は、絶えず変化する時間と空間についての省察です。

### **Marilyn Minter**

マリリン・ミンターの官能的な絵画、写真、動画は、美にまつわる複雑かつ相反する感情やポップカルチャーにおける女体を生々しく探ります。ミンターは、欲望の力に批判的な目を向け、性と肉体の商品化に疑問を投げ掛けます。また、フォトリアリズムとポップアートの手法を自らの作品に組み入れ、ファッション産業やビューティ産業がイメージを通していかんにして欲望を巧みに生み出し操作するかを絶えず探ることで最もよく知られています。

### **Laurie Simmons**

ローリー・シモンズは、国際的に認められたアーティストです。シモンズは、1970年代中頃から、人形や、腹話術の人形、マネキン、時には人間を用いて、自身のカメラで撮影するシーンを演出し、きわめて心理学的な言外の意味を生み出してきました。シモンズの作品は、アート制作に対する政治的なアプローチと概念的なアプローチを融合し、人間、とりわけ女性をオブジェ化する写真の傾向を、メディアの持続的な批評へと変貌させます。子供時代の記憶と、メディアがつくり出したジェンダーロールを掘り下げるシモンズの作品は、不気味な、夢のような特質を帯びています。

### **Anna-Wili Highfield**

アナ＝ウィリ・ハイフィールドの作品は、素材の有機的性質や抵抗の探究を通して、形状が表現する複雑なリアリズムと、使用されている素材のもつ限界や簡潔さ間に緊張が生み出されます。彼女は、作品を通して、さまざまな生物のエネルギー、動き、そして物理的特性を伝える直接的な方法で、生命を表現します。創造活動における彼女の目的は、人間と動物の形態や意識の驚くべき相違点と類似点の両方が強調されるかたちで、自然との接触の瞬間を作り出すことです。